

地域の「元気」をお届けするニュースレター



NPO法人イーモビネット

Code for Japan さんとのコラボで「予約アプリ」を運用開始 (うみらくプロジェクト)

天草市の離島・御所浦にて昨年8月から運航している「海上タクシー夜間のりあい便」サービスに、スマホなどで手軽に予約ができるアプリを導入し、

12月より運用を開始しました。アプリの開発にあたっては、Code for Japanさんが募集した4名の若きエンジニアが「ITブレン (STO※)」としてプロジェクトに参加しました。昨年10月からわずか3か月で、予約アプリの完成にこぎつけました！ ※STO: Social Technology Officer (下記参照)

★アプリ導入の目的は?★

夜間のりあい便は、御所浦を往来する島民や観光客などの移動ニーズをマッチングし「乗り合い」を促す仕組みにより、安価な移動サービスを実現しようという実証事業です。

そのためには、利用者の移動ニーズをマッチングし「乗り合い」を促すシステムの導入が必要不可欠でした。

今回開発したアプリはその第一ステップとなるもので、予約のほか、運航情報の確認、複数人利用でのポイント割引など、便利でオトクにご利用いただける機能を装備しました。



今回導入したスマホアプリ
(左: トップ画面、右: 予約入力画面)



STOメンバーのフィールドワーク
(現地ミーティング) 風景
(11月15日 天草市御所浦町牧島にて)



STOメンバーによる
海上タクシークルージング
(11月15日 御所浦周辺海域)

お知らせ コロナに負けず、元気に活動しています ～ おでかけ支援ボランティアスタッフ募集 ～

昨年春の緊急自体宣言時は活動を中止していた「おでかけ支援」活動も、通院や日用品の買い物などで移動が必要な高齢者が安全に外出いただけるよう、コロナ対策に留意しながら元気に活動を続けています。

昨今利用者も増加傾向にあるため、ボランティアドライバーを追加募集することといたしました。

<ご連絡はコチラへ>
096-295-5116
NPO法人イーモビネット



★「Code for Japan」とは?★

イーモビネットのような社会的課題に取り組む非営利団体を、ITで支援する一般社団法人です。



★STO創出プログラムとは?★

非営利団体をITや経営レベルでサポートできる人材を育成する「Code for Japan」が運営するプログラムです。

今回、公募により4名のITエンジニアが当団体の「STO候補」としてチームを組み、昨年10月~12月の3か月間、「フィールドワーク」として、うみらくプロジェクトに参加いただきました。

今回のアプリも、なんとこの短期間に開発いただきました!

地域における「担い手」育成の仕組みづくり
～益城町「地域福祉塾」の講座を担当して～

NPO法人イーモビネット
代表理事 鶴岡 良一



人口減少が進む多くの地域において、公的サービスのコストを抑えつつ、持続可能な地域づくりを行っていくためには、「地域支え合い」などによる「互助」の仕組みをいかに活発にしていけるかが重要であると言われています。

益城町社会福祉協議会では、支え合いの担い手育成のため「令和2年度 地域福祉塾」を開校され、私は「～住民主体・支え合いによる仕組みづくりで、地域力を育てよう～」をテーマに、1コマ2時間の講座を担当させていただきました。

11月10日（火）に担当しました「第9回講座」では、20名ほどの参加者がありました。全員が女性の方でしたが、イーモビネットが津森地区で4年間続けているボランティア（シニアドライブサポーター）の社会参加による「おでかけ支援サービス」の意義と現状、今後の展望について、熱心にお話を聞いていただき、講義後もたくさんのご質問やご意見をいただきました。

講座は11月末にいったん終了し、その後は参加者同士が話し合い、希望するテーマ毎にチームを組んで実際に地域活動を始められるようで、イーモビネットの「おでかけ支援（どこいこカーまじき）」にも、数名の体験希望があっているそうです。（コロナの状況をみながら、3月までには体験会を実施予定です）

「地域力を育てる人材育成の仕組み」として非常に素晴らしい取り組みと感じました。今後とも、微力ながら力添えになればと思っています。



福祉塾の開催風景（11月10日）

「令和2年度 地域福祉塾」

- ◆ 令和2年8月～11月 全11回
- ◆ 主催：益城町社会福祉協議会
- ◆ 会場：益城町保険福祉センター（熊本県上益城郡益城町惣領1470）
- ◆ 参加者：町内在住で自主的に地域活動を考えている方 20名程度

「うみラクプロジェクト」
中間報告会

10月31日（土）、連携団体向けの2020年度中間報告会を開催しました。プロジェクトの野口、野原から、サービスの利用状況や課題についてデータを交えて報告を行いました。

2019年5月にスタートしたこのプロジェクトも2年目に入り、8月より「夜間のりあい便」などの具体的なサービスを開始したこともあり、地域団体の関心や期待も1年目と比べて確実に高まっていることを実感することができました。



地域団体向け中間報告会風景
(10月31日 天草市御所浦町
コミュニティセンターにて)

トヨタ・モビリティ基金さま
現地視察

うみラクプロジェクトの中間報告会にあわせて、トヨタ・モビリティ基金さまによる今年度初めての現地視察が行われました。

10月30日（金）18時から、地元メディア向け説明会に同席いただいたあと、実際に御所浦と対岸港（棚底港）の夜間のりあい便にも試乗いただき、利用者の反応などを確かめられました。



視察団による海上タクシー試乗風景
(10月30日 天草市倉岳町の棚底港にて)

人吉市さま、人吉社協さま
との意見交換

令和2年豪雨災害で甚大な被害を受けた人吉市の社会福祉協議会より要請があり、人吉市のご担当を交えた意見交換を行いました。

イーモビネットの「おでかけ支援」を一つの事例として、仮設住宅のコミュニティづくり、高齢者の見守り、買い物や通院の足の確保などの課題について意見交換のあと、仮設住宅2か所の視察を行いました。

現地に伺った11月26日は、既に被害の仮設住宅への入居も進んでいました。

引き続き可能な範囲で、復興のお手伝いができればと考えています。



人吉市村山公園に整備された仮設住宅
(11月26日)

本ニュースレターほかへのお問合せ

info@e-mobinet.jp

編集・発行

NPO法人イーモビネット

〒862-0941 熊本県熊本市中央区出水1丁目2-11-104

http://www.e-mobinet.jp

TEL : 096-295-5116 fax : 096-295-3884